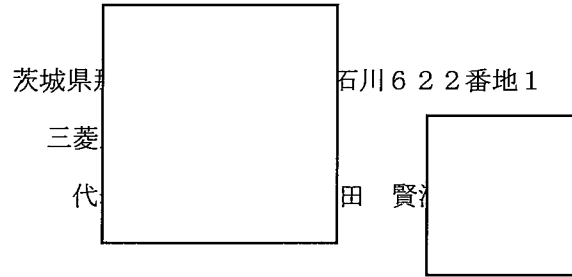


三原燃 第21-0329号  
令和3年8月23日

原子力規制委員会 殿



核燃料物質の加工施設の変更に関する設計  
及び工事の計画の軽微な変更の届出

令和2年3月27日付け原規規発第2003279号をもって加工施設の変更に関する設計及び工事の方法の認可を受けた申請書(令和2年3月31日付け三原燃第19-0857号にて軽微な変更届出)について、別紙のとおり軽微な変更をしたので、核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第十六条の二第五項の規定に基づき届け出ます。

別 紙

1. 名称及び住所並びに代表者の氏名

名称 三菱原子燃料株式会社  
住所 茨城県那珂郡東海村大字舟石川622番地1  
代表者の氏名 代表取締役社長 梅田 賢治

2. 変更に係る加工施設の概要

化学処理施設の建物・構築物  
成形施設の建物・構築物  
組立施設の建物・構築物  
核燃料物質の貯蔵施設の建物・構築物  
放射性廃棄物の廃棄施設の建物・構築物及び設備・機器  
その他の加工施設の建物・構築物及び設備・機器

3. 核原料物質、核燃料物質及び原子炉の規制に関する法律第十六条の二第一項の

認可年月日及び認可番号  
認可年月日 令和2年3月27日  
認可番号 原規規発第2003279号

4. 変更の内容

- (1) 検査の方法に係る判定基準について、添付1に示すとおりとする。
- (2) 構造材の仕様における材料の表記について、添付2に示すとおりとする。
- (3) 検査の方法に係る工事名称の表記について、添付3に示すとおりとする。

5. 変更の理由

- (1) 本変更の理由は、検査の方法に係る判定基準を明確にするためであり、適合性評価における影響がなく、核燃料物質の加工の事業に関する規則第三条の二第二項に規定される加工施設の保全上支障のない変更該当する。
- (2) 本変更の理由は、材料に係る記載内容の拡充及び材料の表記を適正にするためであり、適合性評価における影響がなく、核燃料物質の加工の事業に関する規

- 則第三条の二第二項に規定される加工施設の保全上支障のない変更に該当する。
- (3)本変更の理由は、工事名称の表記を適正にするためであり、適合性評価における影響がなく、核燃料物質の加工の事業に関する規則第三条の二第二項に規定される加工施設の保全上支障のない変更に該当する。

# 添付 1



表2-2 検査の方法

1. 変更内容が改修、新設の検査

検査の項目	検査の方法	判定基準
異状	異状を目視により確認する。 ① 設備・機器の外観を目視により確認する。 ② 高圧気圧設備(6)については、断線監視設備(5)と接続する場所に閉止措置が行われていることと目視で確認する。 ③ 断線監視設備(5)については、成切工場、検査室・分館室からの配管と接続する場所に閉止措置が行われていることと目視で確認する。 ④ 漏えい防止措置を有する設備・機器については、目視による点検を確認する。 ⑤ 設備・機器の配管を目視により確認する。	異状が申請内容のとおりであること。 ① 有害な漏えい等が認められないこと。また、外観が申請内容のとおりであること。 ② 閉止措置が行われていること。 ③ 閉止措置が行われていること。 ④ 漏えい防止措置を有すること。 ⑤ 設備が申請内容のとおりであること。
配管	① アンカーボルトの異状及び寸法を確認する。 ② アンカーボルトの固付状態を目視により確認する。 ・ 系統を目視により確認する。	① 異状及び寸法が申請内容のとおりであること。 ② ボルト又はナットが緩みなく締め付けられていること。 ・ 系統が申請内容のとおりであること。
制御	① アンカーボルトの異状及び寸法を確認する。 ② アンカーボルトの固付状態を目視により確認する。 ・ 系統を目視により確認する。	① 異状及び寸法が申請内容のとおりであること。 ② ボルト又はナットが緩みなく締め付けられていること。 ・ 系統が申請内容のとおりであること。
配線	① アンカーボルトの異状及び寸法を確認する。 ② アンカーボルトの固付状態を目視により確認する。 ・ 系統を目視により確認する。	① 異状及び寸法が申請内容のとおりであること。 ② ボルト又はナットが緩みなく締め付けられていること。 ・ 系統が申請内容のとおりであること。
材料	① アンカーボルトの異状及び寸法を確認する。 ② アンカーボルトの固付状態を目視により確認する。 ・ 系統を目視により確認する。	① 異状及び寸法が申請内容のとおりであること。 ② ボルト又はナットが緩みなく締め付けられていること。 ・ 系統が申請内容のとおりであること。
動作	① アンカーボルトの異状及び寸法を確認する。 ② アンカーボルトの固付状態を目視により確認する。 ・ 系統を目視により確認する。	① 異状及び寸法が申請内容のとおりであること。 ② ボルト又はナットが緩みなく締め付けられていること。 ・ 系統が申請内容のとおりであること。

2. 変更内容が撤去の検査

検査の項目	検査の方法	判定基準
外観	① 建物内部の設備・機器(非常系統を含む)、屋外配管が撤去されていることと目視で確認し、建物内部の配管状態を確認する。 ② 撤去後の配管に閉止措置が行われていることと、また撤去作業の履歴書の記入に閉止措置が行われていることと目視で確認する。 ③ 建物(床・基礎を除く)が撤去されていることと目視で確認する。	① 建物内部の設備・機器(非常系統を含む)、屋外配管が撤去されていることと目視で確認し、建物内部の配管状態を確認する。 ② 撤去後の配管に閉止措置が行われていることと、また撤去作業の履歴書の記入に閉止措置が行われていることと目視で確認する。 ③ 建物(床・基礎を除く)が撤去されていることと目視で確認する。

表2-2 検査の方法

1. 変更内容が改修、新設の検査

検査の項目	検査の方法	判定基準
異状	異状を目視により確認する。 ① 設備・機器の外観を目視により確認する。 ② 高圧気圧設備(6)については、断線監視設備(5)と接続する場所に閉止措置が行われていることと目視で確認する。 ③ 断線監視設備(5)については、成切工場、検査室・分館室からの配管と接続する場所に閉止措置が行われていることと目視で確認する。 ④ 漏えい防止措置を有する設備・機器については、目視による点検を確認する。 ⑤ 設備・機器の配管を目視により確認する。	異状が申請内容のとおりであること。 ① 有害な漏えい等が認められないこと。また、外観が申請内容のとおりであること。 ② 閉止措置が行われていること。 ③ 閉止措置が行われていること。 ④ 漏えい防止措置を有すること。 ⑤ 設備が申請内容のとおりであること。
配管	① アンカーボルトの異状及び寸法を確認する。 ② アンカーボルトの固付状態を目視により確認する。 ・ 系統を目視により確認する。	① 異状及び寸法が申請内容のとおりであること。 ② ボルト又はナットが緩みなく締め付けられていること。 ・ 系統が申請内容のとおりであること。
制御	① アンカーボルトの異状及び寸法を確認する。 ② アンカーボルトの固付状態を目視により確認する。 ・ 系統を目視により確認する。	① 異状及び寸法が申請内容のとおりであること。 ② ボルト又はナットが緩みなく締め付けられていること。 ・ 系統が申請内容のとおりであること。
配線	① アンカーボルトの異状及び寸法を確認する。 ② アンカーボルトの固付状態を目視により確認する。 ・ 系統を目視により確認する。	① 異状及び寸法が申請内容のとおりであること。 ② ボルト又はナットが緩みなく締め付けられていること。 ・ 系統が申請内容のとおりであること。
材料	① アンカーボルトの異状及び寸法を確認する。 ② アンカーボルトの固付状態を目視により確認する。 ・ 系統を目視により確認する。	① 異状及び寸法が申請内容のとおりであること。 ② ボルト又はナットが緩みなく締め付けられていること。 ・ 系統が申請内容のとおりであること。
動作	① アンカーボルトの異状及び寸法を確認する。 ② アンカーボルトの固付状態を目視により確認する。 ・ 系統を目視により確認する。	① 異状及び寸法が申請内容のとおりであること。 ② ボルト又はナットが緩みなく締め付けられていること。 ・ 系統が申請内容のとおりであること。

\*材料は強度(機械的強度、耐食性など)が同等以上である相当品を申請内容に含むものとする

2. 変更内容が撤去の検査

検査の項目	検査の方法	判定基準
外観	① 建物内部の設備・機器(非常系統を含む)、屋外配管が撤去されていることと目視で確認し、建物内部の配管状態を確認する。 ② 撤去後の配管に閉止措置が行われていることと、また撤去作業の履歴書の記入に閉止措置が行われていることと目視で確認する。 ③ 建物(床・基礎を除く)が撤去されていることと目視で確認する。	① 建物内部の設備・機器(非常系統を含む)、屋外配管が撤去されていることと目視で確認し、建物内部の配管状態を確認する。 ② 撤去後の配管に閉止措置が行われていることと、また撤去作業の履歴書の記入に閉止措置が行われていることと目視で確認する。 ③ 建物(床・基礎を除く)が撤去されていることと目視で確認する。

既設部分の検査の方法に関する申請内容を明確化するため。  
なお、適合性評価における影響がなく、加工施設の保全上支障のない変更である。

## 添付 2

表イ建-2 工場制乾燥工場 主要な構造物材の仕様表(2/7)  
耐震性能及び耐風性能等の適合に関する主要な構造物材基本仕様

項目	仕様(工事番号及び工事名称)	対象図面
耐震性能 向上	(1) 本体 1-a. 柱脚部重石補強：鉄筋コンクリート 鉄筋：D13 <input type="text"/> 他 <input type="text"/> あと施工アンカー：D16 <input type="text"/> 他 <input type="text"/> 1-b. 鉄骨ブレース新設 鉄骨： <input type="text"/> 他 <input type="text"/> 1-c. 鉄骨ブレース交換補強 鉄骨： <input type="text"/> 他 <input type="text"/> 1-d. 屋根面鉄骨補強 鉄骨： <input type="text"/> 他 <input type="text"/> 1-h. エキスパンションジョイント改造(注1) 鋼板：板厚(屋外) <input type="text"/> mm 止水シート：厚さ <input type="text"/> mm (2) 本体及び補強 1-e. 柱脚仕口部補強 鋼板：板厚 <input type="text"/> mm 他 <input type="text"/> スタッドボルト：径 <input type="text"/> mm あと施工アンカー：D13 <input type="text"/> 1-f. 柱脚部接合補強	(1) 本体 1-a. 図イ建-19, 29~ 30, 32~41, 46 1-b. 図イ建-19~20, 22, 25~27, 29~ 30, 32, 34~35, 38~41, 48 1-c. 図イ建-19~20, 22, 25~28, 30~ 31, 37, 40~41, 48 1-d. 図イ建-20, 22~ 23, 28~30, 47 1-h. 図イ建-10(3)~ 16 (2) 本体及び補強 1-e. 図イ建-20, 22~ 23, 25~41, 48 1-f. 図イ建-19, 29~ 41, 46 (参考) 図イ建-110(A)~(G)(4) 添付説明書-建2-II 添付説明書-建2- 付録2
	耐震性能 向上	(1) 本体 1-1. 外壁サイディング補強 外壁：サイディング 板厚 <input type="text"/> mm 外壁下地材： <input type="text"/> 1-j. 鉄筋補強 鉄筋： <input type="text"/> 他 <input type="text"/> 1-1. 鋼板補強 鋼板：板厚 <input type="text"/> mm 下地材： <input type="text"/> 断熱材：断熱材厚 <input type="text"/> mm 折返強層への補強(折返強) 折返：板厚 <input type="text"/> mm (2) 前室 1-n. 外壁更新 外壁：サイディング 板厚 <input type="text"/> mm 外壁下地材： <input type="text"/> 発泡性断熱材：厚さ <input type="text"/> mm (3) 本体及び前室 1-k. 鉄筋及びシャッタ交換 鋼板：板厚 <input type="text"/> mm シャッタの腐食、シャッタの腐食、シャ ッタがサイードのレベルの腐食、板厚は、鉄筋の場合、原の 板厚、シャッタの場合、スラット部を示す。 1-o. 折返強層補強 折返：板厚 <input type="text"/> mm

注1) 折返強層補強と前室のエキスパンションジョイント②は表イ建-2-3に示す。  
折返と前室の間のエキスパンションジョイント③は表イ建-2-3に示す。

表イ建-2 工場制乾燥工場 主要な構造物材の仕様表(2/7)  
耐震性能及び耐風性能等の適合に関する主要な構造物材基本仕様

項目	仕様(工事番号及び工事名称)	対象図面
耐震性能 向上	(1) 本体 1-a. 柱脚部重石補強：鉄筋コンクリート 鉄筋：D13 <input type="text"/> 他 <input type="text"/> あと施工アンカー：D16 <input type="text"/> 他 <input type="text"/> 1-b. 鉄骨ブレース新設 鉄骨： <input type="text"/> 他 <input type="text"/> 1-c. 鉄骨ブレース交換補強 鉄骨： <input type="text"/> 他 <input type="text"/> 1-d. 屋根面鉄骨補強 鉄骨： <input type="text"/> 他 <input type="text"/> 1-h. エキスパンションジョイント改造(注1) 鋼板：板厚(屋外) <input type="text"/> mm 止水シート：厚さ <input type="text"/> mm (2) 本体及び補強 1-e. 柱脚仕口部補強 鋼板：板厚 <input type="text"/> mm 他 <input type="text"/> スタッドボルト：径 <input type="text"/> mm あと施工アンカー：D13 <input type="text"/> 1-f. 柱脚部接合補強	(1) 本体 1-a. 図イ建-19, 29~ 30, 32~41, 46 1-b. 図イ建-19~20, 22, 25~27, 29~ 30, 32, 34~35, 38~41, 48 1-c. 図イ建-19~20, 22, 25~28, 30~ 31, 37, 40~41, 48 1-d. 図イ建-20, 22~ 23, 28~30, 47 1-h. 図イ建-10(3)~ 16 (2) 本体及び補強 1-e. 図イ建-20, 22~ 23, 25~41, 48 1-f. 図イ建-19, 29~ 41, 46 (参考) 図イ建-110(A)~(G)(4) 添付説明書-建2-II 添付説明書-建2- 付録2
	耐震性能 向上	(1) 本体 1-1. 外壁サイディング補強 外壁：サイディング 板厚 <input type="text"/> mm 外壁下地材： <input type="text"/> 1-j. 鉄筋補強 鉄筋： <input type="text"/> 他 <input type="text"/> 1-1. 鋼板補強 鋼板：板厚 <input type="text"/> mm 下地材： <input type="text"/> 断熱材：断熱材厚 <input type="text"/> mm 折返強層への補強(折返強) 折返：板厚 <input type="text"/> mm (2) 前室 1-n. 外壁更新 外壁：サイディング 板厚 <input type="text"/> mm 外壁下地材： <input type="text"/> 発泡性断熱材：厚さ <input type="text"/> mm (3) 本体及び前室 1-k. 鉄筋及びシャッタ交換 鋼板：板厚 <input type="text"/> mm シャッタの腐食、シャ ッタがサイードのレベルの腐食、板厚は、鉄筋の場合、原の 板厚、シャッタの場合、スラット部を示す。 1-o. 折返強層補強 折返：板厚 <input type="text"/> mm

注1) 折返強層補強と前室のエキスパンションジョイント②は表イ建-2-3に示す。  
折返と前室の間のエキスパンションジョイント③は表イ建-2-3に示す。

材料の表記を適正化するた  
め。  
なお、適合性評価における  
影響がなく、加工施設の保  
全上支障のない変更であ  
る。



変更前(令和2年3月27日付 原規規発第 2003279 号にて認可)

表イ第-2 工務補修機工場 主要な構造物材の仕様表(3/7)  
耐震性能及び耐圧巻性能等の適合に関する主要な構造物材基本仕様

項目	仕様(工事番号及び工事名称)	対象図面
(1)本体 1-g. 耐火壁 下地材: 右側部: 下: 板厚 <input type="text"/> mm 鋼板: 板厚 <input type="text"/> mm 1-m. 鋼板新設 同上	(1)本体 1-g. 耐火壁 下地材: 右側部: 下: 板厚 <input type="text"/> mm 鋼板: 板厚 <input type="text"/> mm 1-m. 鋼板新設 同上	(1)本体 1-g. 耐火壁-14~15 1-m. 耐火壁-15 (参考) 図イ第-1-(1/4)~(2/4) 添付図面書-1
その他 耐震時止まり 閉じ込み性能 同上		

75

変更後

表イ第-2 工務補修機工場 主要な構造物材の仕様表(3/7)  
耐震性能及び耐圧巻性能等の適合に関する主要な構造物材基本仕様

項目	仕様(工事番号及び工事名称)	対象図面
(1)本体 1-g. 耐火壁 下地材: 右側部: 下: 板厚 <input type="text"/> mm 鋼板: 板厚 <input type="text"/> mm 1-m. 鋼板新設 同上	(1)本体 1-g. 耐火壁 下地材: 右側部: 下: 板厚 <input type="text"/> mm 鋼板: 板厚 <input type="text"/> mm 1-m. 鋼板新設 同上	(1)本体 1-g. 耐火壁-14~15 1-m. 耐火壁-15 (参考) 図イ第-1-(1/4)~(2/4) 添付図面書-1
その他 耐震時止まり 閉じ込み性能 同上		

76

材料の表記を適正化するた  
め。  
なお、適合性評価における  
影響がなく、加工施設の保  
全上支障のない変更であ  
る。

変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。





変更前(令和2年3月27日付 原規規発第2003279号にて認可)

表ホ建-2-1 工場棟組立工場 主要な構造物材の仕様表(2/3)

項目	仕様(工事番号及び工事名称)	対象箇所	
耐震性能 向上	(1) 本体 3-a. 壁新設補強 新設壁厚さ: <input type="text"/> mm 鉄筋: D13 新設柱: <input type="text"/> mm(SC杭) 新設基礎: 鉄筋コンクリート <input type="text"/> mm× <input type="text"/> mm 鉄筋: D13 D29 鋼板: 鉄厚 <input type="text"/> mm (鉄原、シャッタ) 3-b. 壁骨打ち補強 増打ち厚さ: <input type="text"/> mm 鉄筋: D13 あと施工アンカー: D16 シアコネクタ: D13 新設壁厚さ: <input type="text"/> mm 鉄筋: D16 あと施工アンカー: D16、D22 3-d. スラブ新設補強 新設壁厚さ: <input type="text"/> mm 鉄筋: D13、D16 あと施工アンカー: D16 (2) 本体及び前室 3-e. 屋根面鉄骨補強 本体鉄骨: <input type="text"/> mm 前室鉄骨: <input type="text"/> mm	3-a. 壁新設補強 3-b. 壁骨打ち補強 3-c. パットレス新設補強 3-d. スラブ新設補強 3-e. 屋根面鉄骨補強	
	耐震性能 向上	(1) 本体及び前室 3-f. 鉄筋及びシャッタ補強 鉄筋補強材 鉄骨: <input type="text"/> mm 断面寸法: <input type="text"/> mm 3-h. 折板鉄骨補強 折板: 鉄厚 <input type="text"/> mm (2) 前室 3-g. 外壁更新 外壁: サイディング 外壁下地材: <input type="text"/> mm 発泡性耐火断熱材: 厚さ <input type="text"/> mm	3-f. 鉄筋及びシャッタ補強 3-h. 折板鉄骨補強 3-g. 外壁更新

187

変更後

表ホ建-2-1 工場棟組立工場 主要な構造物材の仕様表(2/3)

項目	仕様(工事番号及び工事名称)	対象箇所	
耐震性能及び 耐震性能向上	(1) 本体 3-a. 壁新設補強 新設壁厚さ: <input type="text"/> mm 鉄筋: D13 新設柱: <input type="text"/> mm(SC杭) 新設基礎: 鉄筋コンクリート <input type="text"/> mm× <input type="text"/> mm 鉄筋: D13 D29 鋼板: 鉄厚 <input type="text"/> mm (鉄原、シャッタ) 3-b. 壁骨打ち補強 増打ち厚さ: <input type="text"/> mm 鉄筋: D13 あと施工アンカー: D16 シアコネクタ: D13 新設壁厚さ: <input type="text"/> mm 鉄筋: D16 あと施工アンカー: D16、D19、D22 3-d. スラブ新設補強 新設壁厚さ: <input type="text"/> mm 鉄筋: D13、D16 あと施工アンカー: D16 (2) 本体及び前室 3-e. 屋根面鉄骨補強 本体鉄骨: <input type="text"/> mm 前室鉄骨: <input type="text"/> mm	3-a. 壁新設補強 3-b. 壁骨打ち補強 3-c. パットレス新設補強 3-d. スラブ新設補強 3-e. 屋根面鉄骨補強	
	耐震性能 向上	(1) 本体及び前室 3-f. 鉄筋及びシャッタ補強 鉄筋補強材 鉄骨: <input type="text"/> mm 断面寸法: <input type="text"/> mm 3-h. 折板鉄骨補強 折板: 鉄厚 <input type="text"/> mm (2) 前室 3-g. 外壁更新 外壁: サイディング 外壁下地材: <input type="text"/> mm 発泡性耐火断熱材: 厚さ <input type="text"/> mm	3-f. 鉄筋及びシャッタ補強 3-h. 折板鉄骨補強 3-g. 外壁更新

187

変更理由

材料の表記を適正化するた  
め。  
なお、適合性評価における  
影響がなく、加工施設の保  
全上支障のない変更であ  
る。

変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。

変更前(令和2年3月27日付 原規規発第 2003279 号にて認可)

変更後

変更理由

材料の表記を適正化するた  
め。  
なお、適合性評価における  
影響がなく、加工施設の保  
全上支障のない変更であ  
る。

表3-建-2-1 工場棟組立工場 主要な構造材の仕様表(3/3)

主要な部材寸法及び仕様

工事番号及び工事名称	区分	部材寸法	材質
3-a. 屋根補強	新設	鉄筋: D13	
		鉄筋: D22, D25	
		鋼板: 板厚 <input type="text"/> mm	
3-b. 梁割打ち補強	新設	鉄筋: D13	
		あと施工アンカー: D16 シアコネクタ: D13	
3-c. パットレス新設補強	新設	鉄筋: D16	
		あと施工アンカー: D16 あと施工アンカー: D19及びD22	
3-d. スラブ新設補強	新設	鉄筋: D13及びD16	
		あと施工アンカー: D16	
3-e. 屋根面鉄骨補強	新設	鉄筋	
		鉄骨	
		鉄骨	
		鉄骨	
		鉄骨	
		鉄骨	
		鉄骨	
		鉄骨	
		鉄骨	
		鉄骨	
3-f. 鉄骨及びシャッタ補強	新設	鉄骨補強材	
		シャッタ補強材	
3-g. 外壁更新(前室)	新設	JIS H4100 に定める	
		断面寸法: <input type="text"/> mm × 板厚 <input type="text"/> mm	
		外壁工部材: <input type="text"/> mm × 板厚 <input type="text"/> mm	
		根柢材: <input type="text"/> mm × 板厚 <input type="text"/> mm	
		あと施工アンカー: D16	
3-h. 折板設置補強	新設	鉄骨	
		鉄骨	

(参考)  
 鉄設建 2-IV. 1.6-10 表-6-16 表  
 鉄設建 3-IV. 1.4-1 表  
 鉄設建 3-XI. 3.8-1 表  
 工場棟組立工場 主要な構造材の仕様表(3/3)は表3-建-2-1に、客室管理棟との間のエキスポ  
 ションジョイント④は表3-建-2-2に示す。

188

表3-建-6-1 工場棟組立工場 主要な構造材の仕様表(3/3)

主要な部材寸法及び仕様

工事番号及び工事名称	区分	部材寸法	材質
3-a. 屋根補強	新設	鉄筋: D13	
		鉄筋: D22, D25	
		鋼板: 板厚 <input type="text"/> mm	
3-b. 梁割打ち補強	新設	鉄筋: D13	
		あと施工アンカー: D16 シアコネクタ: D13	
3-c. パットレス新設補強	新設	鉄筋: D16	
		あと施工アンカー: D16 あと施工アンカー: D19及びD22	
3-d. スラブ新設補強	新設	鉄筋: D13及びD16	
		あと施工アンカー: D16	
3-e. 屋根面鉄骨補強	既設	鉄骨	
		鉄骨	
		鉄骨	
		鉄骨	
		鉄骨	
		鉄骨	
		鉄骨	
		鉄骨	
		鉄骨	
		鉄骨	
3-f. 鉄骨及びシャッタ補強	新設	鉄骨補強材	
		シャッタ補強材	
3-g. 外壁更新(前室)	既設	JIS H4100 に定める	
		断面寸法: <input type="text"/> mm × 板厚 <input type="text"/> mm	
		外壁工部材: <input type="text"/> mm × 板厚 <input type="text"/> mm	
		根柢材: <input type="text"/> mm × 板厚 <input type="text"/> mm	
		あと施工アンカー: D16	
3-h. 折板設置補強	新設	鉄骨	
		鉄骨	

(参考)  
 鉄設建 2-IV. 1.6-10 表-6-16 表  
 鉄設建 3-IV. 1.4-1 表  
 鉄設建 3-XI. 3.8-1 表  
 工場棟組立工場 主要な構造材の仕様表(3/3)は表3-建-2-1に、客室管理棟との間のエキスポ  
 ションジョイント④は表3-建-2-2に示す。

188

変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。

変更前(令和2年3月27日付 原規規発第2003279号にて認可)

表へ註-2-2 付風機物器管理棟 主要な構造材の仕様表(2/2)

項目	仕様(工事番号及び工事名称)	対象図面
耐震性能 向上	(1)前室 5-a. エキスパンションジョイント改造 鋼板: 板厚 (屋外) <input type="text"/> mm (屋内) <input type="text"/> mm (参考) 図イ種-1-1(1/4) 添付説明書-種2- 付録2	(1)前室 5-a. 図イ種-5(1/3), 図へ種-6-12 (参考) 図イ種-1-1(1/4) 添付説明書-種2- 付録2
耐震性能 向上	(1)保管室及び前室 5-b. 鉄筋補強材 鉄骨: <input type="text"/> (2)前室 5-c. 外壁更新 外壁下地材: <input type="text"/> mm 他 あと施工アンカー: D16 <input type="text"/> mm 外壁: サイディング <input type="text"/> mm 板厚 <input type="text"/> mm 発泡性耐火断熱材: 厚さ <input type="text"/> mm	(1)保管室及び前室 5-b. 図イ種-9, 12~ 13 図へ種-6-8 (2)前室 5-c. 図へ種-6-7, 10, 13 (参考) 図イ種-1-1(1/4) 添付説明書-種3-VI 添付説明書-種1

主要な部材寸法及び材質

工事番号及び工事名称	区分	部材寸法	材質
5-a. エキスパンションジョイント改造	新設	鋼板: 板厚 (屋外) <input type="text"/> mm (屋内) <input type="text"/> mm	
5-b. 鉄筋補強	新設	鉄筋補強材	
5-c. 外壁更新	新設	鉄骨: <input type="text"/> 外壁下地材: <input type="text"/> mm 外壁下地材受け: <input type="text"/> mm あと施工アンカー: D16 <input type="text"/> mm 板厚 <input type="text"/> mm	
	既設	鉄骨: <input type="text"/>	

(参考)  
添付説明書-種2-VI.1.6-6 表  
添付説明書-種2-VI.1.4-1 表  
添付説明書-種3-VI.3.8-1 表

245

変更後

表へ註-2-2 付風機物器管理棟 主要な構造材の仕様表(2/2)

項目	仕様(工事番号及び工事名称)	対象図面
耐震性能 向上	(1)前室 5-a. エキスパンションジョイント改造 鋼板: 板厚 (屋外) <input type="text"/> mm (屋内) <input type="text"/> mm (参考) 図イ種-1-1(1/4) 添付説明書-種2- 付録2	(1)前室 5-a. 図イ種-5(1/3), 図へ種-6-12 (参考) 図イ種-1-1(1/4) 添付説明書-種2- 付録2
耐震性能 向上	(1)保管室及び前室 5-b. 鉄筋補強材 鉄骨: <input type="text"/> (2)前室 5-c. 外壁更新 外壁下地材: <input type="text"/> mm 他 あと施工アンカー: D16 <input type="text"/> mm 外壁: サイディング <input type="text"/> mm 板厚 <input type="text"/> mm 発泡性耐火断熱材: 厚さ <input type="text"/> mm	(1)保管室及び前室 5-b. 図イ種-9, 12~ 13 図へ種-6-8 (2)前室 5-c. 図へ種-6-7, 10, 13 (参考) 図イ種-1-1(1/4) 添付説明書-種3-VI 添付説明書-種1

主要な部材寸法及び材質

工事番号及び工事名称	区分	部材寸法	材質
5-a. エキスパンションジョイント改造	新設	鋼板: 板厚 (屋外) <input type="text"/> mm (屋内) <input type="text"/> mm	
5-b. 鉄筋補強	新設	鉄筋補強材	
5-c. 外壁更新	新設	鉄骨: <input type="text"/> 外壁下地材: <input type="text"/> mm 外壁下地材受け: <input type="text"/> mm あと施工アンカー: D16 <input type="text"/> mm 板厚 <input type="text"/> mm	
	既設	鉄骨: <input type="text"/>	

(参考)  
添付説明書-種2-VI.1.6-6 表  
添付説明書-種2-VI.1.4-1 表  
添付説明書-種3-VI.3.8-1 表

246

変更理由  
材料の表記を適正化するた  
め。  
なお、適合性評価における  
影響がなく、加工施設の保  
全上支障のない変更であ  
る。

変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。

表1-建-2-1 放射線管理棟 主要な構造材の仕様表(2/4)

項目	仕様(工事番号及び工事名称)	対称面
耐震性能 向上	(1) 本体及び鋼骨部 6-a. 時断型補強 新設型厚さ: <input type="text"/> mm 他 鉄筋: D10 <input type="text"/> mm 他 あと施工アンカー: D13 <input type="text"/> mm 他 6-f. エキスパンションジョイント(設置部) 鋼板: 取厚(屋外) <input type="text"/> mm 鋼板: 取厚(屋内) <input type="text"/> mm	(1) 本体及び埋蔵部 9-a. 図1-建-6-6, 11, 16~18, 21 9-f. 図1-建-5(1/3), 図1-建-1~6, 18
	(2) 本体 6-b. 壁骨打ち補強 増打ち厚さ: <input type="text"/> mm 他 鉄筋: D13 <input type="text"/> mm あと施工アンカー: D22 <input type="text"/> mm シアコネクタ: D13 <input type="text"/> mm	(2) 本体 9-b. 図1-建-5, 13, 10
耐震性能 向上	(3) 既築物一時貯蔵所 シアコネクタ: D13 <input type="text"/> mm 6-c. 鉄骨プレース新設 鉄骨: <input type="text"/> mm 他 6-d. 隠れ面プレース新設 鉄骨: <input type="text"/> mm 6-e. 方柱追加補強 鉄骨: <input type="text"/> mm 他 あと施工アンカー: D16 <input type="text"/> mm	(3) 既築物一時貯蔵所 9-o. 図1-建-5, 14, 20 9-d. 図1-建-9 9-a. 図1-建-8, 11, 12, 20 (参考) 図1-建-1(1/4) 添付説明書-建2-Ⅲ 添付説明書-建2-Ⅳ 添付説明書-建2- 付録2
	(1) 既築物一時貯蔵所 及び雨水処理室 6-g. 外壁更新 外壁: サイディング 発泡性断熱材: 厚さ <input type="text"/> mm 他 鋼板: 取厚 <input type="text"/> mm 他 A.L.C.: 厚さ <input type="text"/> mm 6-h. 鉄骨補強 鉄骨: <input type="text"/> mm 6-i. 鋼骨交換 鋼板: 取厚 <input type="text"/> mm	(1) 既築物一時貯蔵所 及び雨水処理室 9-g. 図1-建-1~2, 5, 12, 14, 20 (2) 本体 9-h. 図1-建-9, 12~ 13, 図1-建-1~2 (3) 本体及び埋蔵部 9-i. 図1-建-8, 12, 図1-建-1~2 (参考) 図1-建-1(1/4) 添付説明書-建2-Ⅲ 添付説明書-建2-Ⅳ

注1) 放射線管理棟前室との間のエキスパンションジョイント⑥は表1-建-2-2に示す。

表1-建-2-1 放射線管理棟 主要な構造材の仕様表(2/4)

項目	仕様(工事番号及び工事名称)	対称面
耐震性能及び耐震性能等の適合に関する主要な構造材基本仕様	(1) 本体及び鋼骨部 6-a. 時断型補強 新設型厚さ: <input type="text"/> mm 他 鉄筋: D10 <input type="text"/> mm 他 あと施工アンカー: D13 <input type="text"/> mm 他 6-f. エキスパンションジョイント(設置部) 鋼板: 取厚(屋外) <input type="text"/> mm 鋼板: 取厚(屋内) <input type="text"/> mm	(1) 本体及び埋蔵部 9-a. 図1-建-6-6, 11, 16~18, 21 9-f. 図1-建-5(1/3), 図1-建-1~6, 18
	(2) 本体 6-b. 壁骨打ち補強 増打ち厚さ: <input type="text"/> mm 他 鉄筋: D13 <input type="text"/> mm あと施工アンカー: D22 <input type="text"/> mm シアコネクタ: D13 <input type="text"/> mm	(2) 本体 9-b. 図1-建-5, 13, 10
耐震性能 向上	(3) 既築物一時貯蔵所 シアコネクタ: D13 <input type="text"/> mm 6-c. 鉄骨プレース新設 鉄骨: <input type="text"/> mm 他 6-d. 隠れ面プレース新設 鉄骨: <input type="text"/> mm 6-e. 方柱追加補強 鉄骨: <input type="text"/> mm 他 あと施工アンカー: D16 <input type="text"/> mm	(3) 既築物一時貯蔵所 9-o. 図1-建-5, 14, 20 9-d. 図1-建-9 9-a. 図1-建-8, 11, 12, 20 (参考) 図1-建-1(1/4) 添付説明書-建2-Ⅲ 添付説明書-建2-Ⅳ 添付説明書-建2- 付録2
	(1) 既築物一時貯蔵所 及び雨水処理室 6-g. 外壁更新 外壁: サイディング 発泡性断熱材: 厚さ <input type="text"/> mm 他 鋼板: 取厚 <input type="text"/> mm 他 A.L.C.: 厚さ <input type="text"/> mm 6-h. 鉄骨補強 鉄骨: <input type="text"/> mm 6-i. 鋼骨交換 鋼板: 取厚 <input type="text"/> mm	(1) 既築物一時貯蔵所 及び雨水処理室 9-g. 図1-建-1~2, 5, 12, 14, 20 (2) 本体 9-h. 図1-建-9, 12~ 13, 図1-建-1~2 (3) 本体及び埋蔵部 9-i. 図1-建-8, 12, 図1-建-1~2 (参考) 図1-建-1(1/4) 添付説明書-建2-Ⅲ 添付説明書-建2-Ⅳ

注1) 放射線管理棟前室との間のエキスパンションジョイント⑥は表1-建-2-2に示す。

変更理由  
材料に係る記載内容を拡充及び材料表記を適正化するため。  
なお、適合性評価における影響がなく、加工施設の保全上支障のない変更である。

材料に係る記載内容を拡充及び材料表記を適正化するため。  
なお、適合性評価における影響がなく、加工施設の保全上支障のない変更である。

表ト建-2-1 放射線管理棟 主要な構造物材の仕様表(4/4)

表ト建-2-1 放射線管理棟 主要な構造物材の仕様表(4/4)

主要な部材寸法及び材質  
工事番号及び工事名称

区分	部材寸法	材質
新設	鉄筋：D10及びD13 あと施工アンカー：D13、D16 ：D19	
新設	鉄筋：D13 あと施工アンカー：D22 シアコネクタ：D13	
新設	鉄骨： 鉄骨：	
既設	鉄骨： 鉄骨：	
新設	鉄骨：	
既設	鉄骨： 鉄骨：	
新設	鉄骨： あと施工アンカー：D16	
新設	鋼板：板厚(屋外) <input type="text"/> mm (屋内) <input type="text"/> mm	
新設	鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鋼板：板厚(外側) <input type="text"/> mm (内側) <input type="text"/> mm ALC：厚さ <input type="text"/> mm	
新設	鉄骨補強材 <input type="text"/>	
新設	鋼板：板厚 <input type="text"/> mm	

(参考)  
添設建2-III.1.6-17表  
添設建2-VII.1.2-1表  
添付部材書-建2-付録2  
添設建3-III.1.4-1表  
添設建3-VI.1.4-1表  
添設建3-XI.3.8-1表

365

主要な部材寸法及び材質  
工事番号及び工事名称

区分	部材寸法	材質
新設	鉄筋：D10及びD13 あと施工アンカー：D13、D16 ：D19	
新設	鉄筋：D13 あと施工アンカー：D22 シアコネクタ：D13	
新設	鉄骨： 鉄骨：	
既設	鉄骨： 鉄骨：	
新設	鉄骨：	
既設	鉄骨： 鉄骨：	
新設	鉄骨： あと施工アンカー：D16	
新設	鋼板：板厚(屋外) <input type="text"/> mm (屋内) <input type="text"/> mm	
新設	鉄骨： 鉄骨： 鉄骨： 鋼板：板厚(外側) <input type="text"/> mm (内側) <input type="text"/> mm ALC：厚さ <input type="text"/> mm	
新設	鉄骨補強材 <input type="text"/>	
新設	鋼板：板厚 <input type="text"/> mm	

(参考)  
添設建2-III.1.6-17表  
添設建2-VII.1.2-1表  
添付部材書-建2-付録2  
添設建3-III.1.4-1表  
添設建3-VI.1.4-1表  
添設建3-XI.3.8-1表

365

変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲み、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲みで示す。



表ト建-2-3 付属建築物換気・分析室 主要な構造材の仕様表(2/4)

項目	仕様	対象箇面
耐震性能 向上	(1)本体 8-a. 柱脚補強 柱脚補強：鉄筋コンクリート $\square$ mm $\times$ $\square$ mm 鉄筋：D19 $\square$ あと施工アンカー：D13 $\square$ 8-b. 鉄骨フレーム交換補強 鉄骨：鉄骨 $\square$ mm 8-c. 屋根面鉄骨補強 鉄骨：鉄骨 $\square$ mm 8-d. エキスパンションジョイント改修(※1) 鋼板：板厚 $\square$ mm 止水シート：厚さ $\square$ mm	(1)本体 8-a. 図ト建-25, 28-31 8-b. 図ト建-25, 30-31 8-c. 図ト建-27-29, 34 8-d. 図ト建-5(1/3), 図ト建-22-24  (参考) 図ト建-1(1/4)~(2/4) 添付説明書-建2-IX 添付説明書-建2-付録2
	耐震性能 向上	(1)本体 8-f. 外壁サイディング補強 新設鉄骨：鉄筋コンクリート $\square$ mm $\times$ $\square$ mm (鋼管杭) 鉄筋：D13 $\square$ あと施工アンカー：D13 $\square$ 外壁下地材：鉄板 $\square$ mm 外壁：サイディング 8-g. 鉄筋補強材 鉄骨：鉄骨 $\square$ mm 8-h. 鉄筋及びシャッタ交換 鋼材：板厚 $\square$ mm 8-i. 折返屋根補強 屋根：板厚 $\square$ mm 折板：板厚 $\square$ mm
その他 延焼防止及び 閉じ込め性能 向上	(1)本体 8-d. 間仕切り壁更新 下地材：鉄板 $\square$ mm 石膏ボード：板厚 $\square$ mm及びび $\square$ mm	(1)本体 8-d. 図ト建-22  (参考) 図ト建-1(1/4) 添付説明書-建1

注1) 第2換気料倉庫との間のエキスパンションジョイント③は表へ建-2-1に示す。

表ト建-2-3 付属建築物換気・分析室 主要な構造材の仕様表(2/4)

項目	仕様	対象箇面
耐震性能及び 耐火性能等 の向上	(1)本体 8-a. 柱脚補強 柱脚補強：鉄筋コンクリート $\square$ mm $\times$ $\square$ mm 鉄筋：D19 $\square$ あと施工アンカー：D13 $\square$ 8-b. 鉄骨フレーム交換補強 鉄骨：鉄骨 $\square$ mm 8-c. 屋根面鉄骨補強 鉄骨：鉄骨 $\square$ mm 8-d. エキスパンションジョイント改修(※1) 鋼板：板厚 $\square$ mm 止水シート：厚さ $\square$ mm	(1)本体 8-a. 図ト建-25, 28-31 8-b. 図ト建-25, 30-31 8-c. 図ト建-27-29, 34 8-d. 図ト建-5(1/3), 図ト建-22-24  (参考) 図ト建-1(1/4)~(2/4) 添付説明書-建2-IX 添付説明書-建2-付録2
	耐震性能 向上	(1)本体 8-f. 外壁サイディング補強 新設鉄骨：鉄筋コンクリート $\square$ mm $\times$ $\square$ mm (鋼管杭) 鉄筋：D13 $\square$ あと施工アンカー：D13 $\square$ 外壁下地材：鉄板 $\square$ mm 外壁：サイディング 8-g. 鉄筋補強材 鉄骨：鉄骨 $\square$ mm 8-h. 鉄筋及びシャッタ交換 鋼材：板厚 $\square$ mm 8-i. 折返屋根補強 屋根：板厚 $\square$ mm 折板：板厚 $\square$ mm
その他 延焼防止及び 閉じ込め性能 向上	(1)本体 8-d. 間仕切り壁更新 下地材：鉄板 $\square$ mm 石膏ボード：板厚 $\square$ mm及びび $\square$ mm	(1)本体 8-d. 図ト建-22  (参考) 図ト建-1(1/4) 添付説明書-建1

注1) 第2換気料倉庫との間のエキスパンションジョイント③は表へ建-2-1に示す。

変更理由  
材料の表記を適正化するた  
め。  
なお、適合性評価における  
影響がなく、加工施設の保  
全上支障のない変更であ  
る。

変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲み、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲みで示す。

変更前(令和2年3月27日付 原規規発第 2003279 号にて認可)

表 1 棟-2-3 付属建物除染室・分析室 主要な構造材の仕様表(4/4)

主要な部材寸法及び材質  
工事番号及び工事名称

区分	部材寸法	材質
8-a. 柱脚補強	新設 鉄筋: D19 あと施工アンカー: D13	
	既設 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨:	
8-b. 鉄骨ブレース交換補強	新設 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨:	
	既設 鉄骨:	
8-c. 屋根面鉄骨補強	新設 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨:	
	既設 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨:	
8-d. 間仕切り壁更新	新設 下地材: (JIS A6517)	
	新設 鋼板: 板厚 (屋外) <input type="text"/> mm (屋内) <input type="text"/> mm 止水シート: 厚さ <input type="text"/> mm	
8-e. エキスパンション ジョイント改造	新設 新設板: <input type="text"/> mm、厚さ <input type="text"/> mm 鉄筋: D13 あと施工アンカー: D13 外壁下地材: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨:	
	既設 鉄骨補強材	
8-f. 外壁サイディング補強	新設 鋼板: 板厚 <input type="text"/> mm 止水シート: 厚さ <input type="text"/> mm	
	既設 鋼板: 板厚 <input type="text"/> mm	
8-g. 鉄扉補強	新設 鋼板: 板厚 <input type="text"/> mm	
	既設 鋼板: 板厚 <input type="text"/> mm	
8-h. 鉄扉及びシャッター交換	新設 鋼板: 板厚 <input type="text"/> mm	
	既設 鋼板: 板厚 <input type="text"/> mm	
8-i. 折板追設補強	新設 鋼板: 板厚 <input type="text"/> mm	
	既設 鋼板: 板厚 <input type="text"/> mm	

(参考)  
添付図集 2-IX.1.6-1 表~6-9 表  
添付図集 2-付録 2  
添付図集 3-IX.1.4-1 表

371

変更後

表 2 棟-2-3 付属建物除染室・分析室 主要な構造材の仕様表(4/4)

主要な部材寸法及び材質  
工事番号及び工事名称

区分	部材寸法	材質
8-a. 柱脚補強	新設 鉄筋: D19 あと施工アンカー: D13	
	既設 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨:	
8-b. 鉄骨ブレース交換補強	新設 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨:	
	既設 鉄骨:	
8-c. 屋根面鉄骨補強	新設 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨:	
	既設 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨:	
8-d. 間仕切り壁更新	新設 下地材: (JIS A6517)	
	新設 鋼板: 板厚 (屋外) <input type="text"/> mm (屋内) <input type="text"/> mm 止水シート: 厚さ <input type="text"/> mm	
8-e. エキスパンション ジョイント改造	新設 新設板: <input type="text"/> mm、厚さ <input type="text"/> mm 鉄筋: D13 あと施工アンカー: D13 外壁下地材: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨: 鉄骨:	
	既設 鉄骨補強材	
8-f. 外壁サイディング補強	新設 鋼板: 板厚 <input type="text"/> mm 止水シート: 厚さ <input type="text"/> mm	
	既設 鋼板: 板厚 <input type="text"/> mm	
8-g. 鉄扉補強	新設 鋼板: 板厚 <input type="text"/> mm	
	既設 鋼板: 板厚 <input type="text"/> mm	
8-h. 鉄扉及びシャッター交換	新設 鋼板: 板厚 <input type="text"/> mm	
	既設 鋼板: 板厚 <input type="text"/> mm	
8-i. 折板追設補強	新設 鋼板: 板厚 <input type="text"/> mm	
	既設 鋼板: 板厚 <input type="text"/> mm	

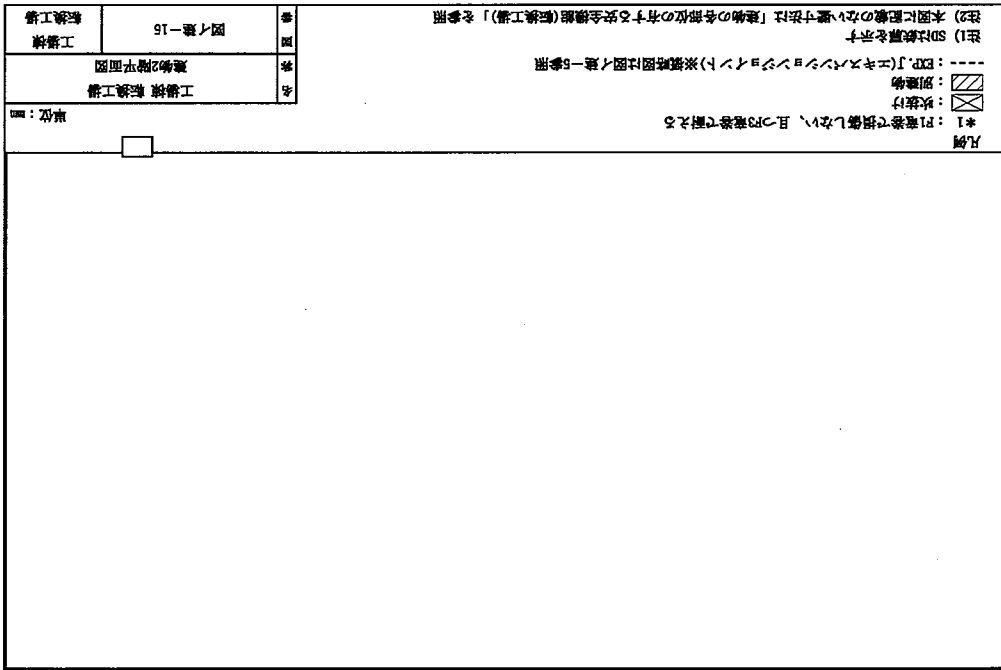
(参考)  
添付図集 2-IX.1.6-1 表~6-9 表  
添付図集 2-付録 2  
添付図集 3-IX.1.4-1 表

371

変更理由  
材料の表記を適正化するた  
め。  
なお、適合性評価における  
影響がなく、加工施設の保  
全上支障のない変更であ  
る。

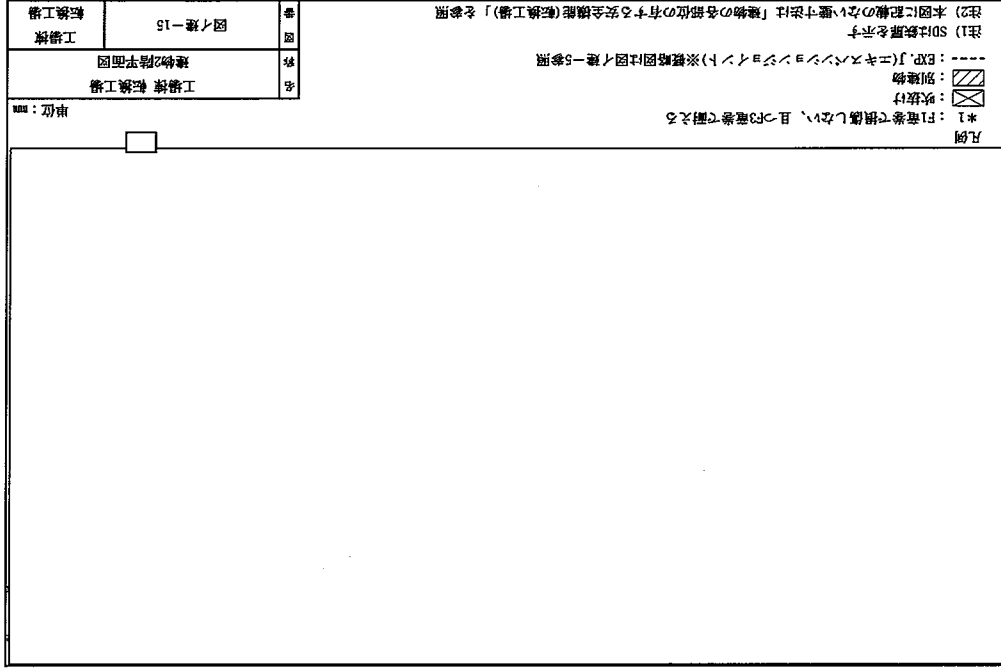
変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。

変更前(令和2年3月27日付 原規規発第2008279号にて認可)



628

変更後



628

変更理由

材料の表記を適正化するため。  
なお、適合性評価における影響がなく、加工施設の保全上支障のない変更である。

変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。

変更前(令和2年3月27日付 原規規発第2003279号にて認可)

(2) 鉄骨部材

添設建2-Ⅲ-1.6-16表 鉄骨部材一覧(1/2)

区分	建物	部材	符号	主材	材質
新設	成型工場	柱	NC1		
			NP1		
		小梁	NSB11		
			NSB24		
			NSB29		
			NSB69		
		プレース	NTB1		
			NB-r1		
			NB-r20		
			NIBr1		
			NIBr11		
		水平プレース	NIBr12		
			NIBr13		
			NIBr14		
			NIBr15		
NTL1					
方杖	NTL2				
	NP11				
放料線管理棟	柱	NB-r11			
	プレース	NIBr2			
	水平プレース	NT2			
	方杖	NT2A			
補強	成型工場	プレース	NPT2		

1219

変更後

(2) 鉄骨部材

添設建2-Ⅲ-1.6-16表 鉄骨部材一覧(1/2)

区分	建物	部材	符号	主材	材質
新設	成型工場	柱	NC1		
			NP1		
		小梁	NSB11		
			NSB24		
			NSB29		
			NSB69		
		プレース	NTB1		
			NB-r1		
			NB-r20		
			NIBr1		
			NIBr11		
		水平プレース	NIBr12		
			NIBr13		
			NIBr14		
			NIBr15		
NTL1					
方杖	NTL2				
	NP11				
放料線管理棟	柱	NB-r11			
	プレース	NIBr2			
	水平プレース	NT2			
	方杖	NT2A			
補強	成型工場	プレース	NPT2		

1219

変更理由

材料に係る記載内容を拡充化するため。  
なお、適合性評価における影響がなく、加工施設の保全上支障のない変更である。

変更対象を黒文字下線もしくは黒線囲い、変更箇所を赤文字下線もしくは赤線囲いで示す。

## 添付 3

